一　般　質　問　通　告　一　覧　表

令和５年第3回定例会
（全て　一問一答）

質問者		質問事項	質　問　の　要　旨
瀧見　明彦	（1）	令和３年度決算に基づく健全化判断比率、資金不足比率の概要ついて	・岬町の実質赤字比率及び連結実質赤字比率について ・岬町の実質公債費比率及び将来負担比率について。 ・岬町の財政躍進の目指す方向を問う。
奥野　学	（1）	岬町本庁舎を全面建て替える為には、早急にどの様な予算確保対策をすべきか！	・ふるさと納税を泉佐野市を見習い、今よりも返礼品を増やし納税額を増やす対策をどうすればよいのか！ ・公有財産台帳はどの様に整理し、管理しているのか？ ・町内の全民有地の現況を再確認し、評価見直しすることにより固定資産税を増額させる対策を！ ・公民館・図書館との複合型にすれば、過疎債を利用して少しでも本庁舎建設事業費を削減することができないのか？
谷﨑　整史	（1）	土砂・廃棄物の不法投棄について	・現状の把握状況はどうか。 ・土砂条例、廃棄物条例、環境条例などから指導、規制の実績はどうか。 ・不在地主に対する注意喚起はどうか。
	（2）	外郭団体の不祥事について	・大阪府シルバー人材センター協議会からの監査が４／１９にあったが、事案の経緯について明確にされたい。 ・外郭団体に対する管理の甘さがあったが、管理運営の変化の経緯と決裁者について問う。 ・横領事案等に該当の場合の今後の処分方針について。
	（3）	泉州市町の広域連携について	・泉州地域都市制度勉強会への参加について、岸和田市、泉大津市、泉佐野市、和泉市、高石市、泉南市、阪南市、忠岡町、熊取町に貝塚市が参加、８市2町であるが、岬町の参画は。
道工 晴久	（1）	農業公園計画について	・その後どこまで計画が進んでいるのか？ ・区域と広さは？
	（2）	広報誌等の町民への配布方法について	・区長連合会との話し合いはどうなったのか？ ・約2割の家庭が配布物を見る事が出来ていないが町としての対処について。

質問者	質問事項	質　問　の　要　旨
大里　武智	（1）過疎化対策について	・町は過疎化対策についてどのように考えているか
	（2）過疎化対策（雇用）について	・企業誘致の現状と町民の雇用状況について ・町内での起業社数及び起業者支援策とビジネスコンテストについて
	（3）過疎化対策（住居）について	・岬町への移住者対策・支援について ・公営住宅及び空き家への転入への可能性について
	（4）過疎化対策（教育）について	・令和5年度全国学力学習状況調査の結果及び小・中学校のそれぞれの特色と課題について ・小・中学校働き方改革のための取り組み状況について
出口　実	（1）二級河川大川の拡幅、改修工事内容、進捗状況について	・拡幅工事は何年間の事業であるのか。 ・用地買収は現在何%なのか。 ・南海橋の掛替工事の期日、形態はどうなるのか。 ・令和4年度では1ヶ所の工事しかなされていない。一年間で何ヶ月位の改修工事に着手出来るのか。
	（2）広域水道事業の組織形態について	・大阪府下全体の参加行政の件数 ・深日陸出地区一部、孝子全域の水道水を逢帰ダムの水道水を淀川に切り替出来ないものか
中原　晶	（1）新たな「みさき公園」づくりについて	・新たな「みさき公園」づくりについて、事業者から提出されたとされる「基本構想」が、議会にも住民にも示されないまま時間が経過している。なぜ「基本構想」が公表されないのか、工事が始まる気配がいっさいないが「パブリックスペース」の「来年春オープン」は可能なのかなど、事業者との協議状況や今後の計画を問う。
	（2）自衛隊への名簿提出について	・自衛官募集のために、高校・大学卒業前後の年代の個人情報を記載した名簿を自衛隊に提出する自治体が増加している。岬町が「名簿の提供」をおこなっていないことは、憲法が定める「基本的人権」と「個人情報」を厳守する姿勢だと評価するが、今後も提供しない姿勢を貫くのかを問う。
	（3）コミュニティ・バスについて	・バス停の整備（日よけや雨よけ、ベンチの設置など）を求める声が多く寄せられている。バス停の位置により条件が異なるが、整備可能な箇所からでもさらに設置を進めるべきではないか。 ・「デマンド交通」（予約に合わせて運行するバスなど）の導入を検討する必要性を感じるが、町の考えを問う。

質問者	質問事項	質 問 の 要 旨
谷地　泰平	（1）協働のまちづくりを目指して	・「岬"ゆめ・みらい"サポート事業制度」について ・協働のまちづくりをどのように進めていくのか？
	（2）公共施設の利用促進について	・現在の公共施設の利用状況は？ ・利用促進に向けた方策は？ ・利用条件の緩和により利用促進を図るべきでは？
	（3）ブルーインパルス招致による大阪・関西万博の機運醸成について	・関空開港30周年におけるブルーインパルス展示飛行招致について ・大阪・関西万博開会式におけるブルーインパルス府内全域飛行実現について
坂原 正勝	（1）自転車の利用者の安全確保のために	・自転車用ヘルメット購入費助成制度を導入してはどうか？
	（2）国民健康保険料の支払方法について	・一括支払いはできないか？
	（3）認知症高齢者の見守りについて	・見守りシール（仮称）を発行してはどうか？
早川　良	（1）災害時の避難所へのペット同行避難、同伴避難について	・災害時には何より人命が優先されるが、近年ペットは家族の一員であるという意識が一般的になりつつあることから、ペットと同行避難をすることは、動物愛護の観点のみならず、飼い主である被害者の心のケアの観点からも重要である。岬町での同行避難、同伴避難の現状について問う。
松尾　匡	（1）岬町における「循環型まちづくり」の現状と今後を問う	・岬町では令和元年5月27日に「岬町プラスチックごみゼロ宣言」を行い、令和4年3月9日には、「岬町ゼロカーボンシティへの挑戦」を表明しています。岬町の豊かな自然環境を守り、育てるためのこれらの施策について、今までの経過と現状はどうなのか。そしてこれからの計画や目標について、検証します。
	（2）災害から町民を守るために	・近年の豪雨や線状降水帯などで、各地に被害が出ています。町内にも、水災害を招く危険性のある水路や、冠水の恐れがある主要道路などがありますが、突発的な気象による災害を防ぐためにも、このような危険個所について、どのように対処していくのか、検証します。また、災害が発生した（またはする恐れがある）時の、防災行政無線の使用基準等について、検証します。

質問者	質問事項	質　問　の　要　旨
松尾　匡	（３）地域が支える、地産地消の循環型学校給食の提案について	令和元年6月議会で提案したテーマである「地域が支える、地産地消の循環型学校給食」の、仕組みづくりがどこまで進められているのか？ その後の町の進ちょく状況と、そもそもの取り組み姿勢を検証します。 以下提案要旨 全国的に現在見直されている学校給食。 子どもの健全な成長には、栄養豊富で新鮮、そしてオーガニックな食材を使うことがとても大切で、現在多くの自治体が学校給食の地産地消を取り入れています。 一方で、岬町には増え続ける耕作放棄地と高齢化の社会的課題があります。 そんな岬町において、仕事をリタイヤされた方々を中心に『子どもの学校給食のため』の農家や漁師を育成し、町がその農家や漁師より生産物を購入して給食で使用することで、耕作放棄地の解消と圃場の再生、農業・漁業の活性化と同時に、学校給食の地産地消化を見込める、「学校給食を地産地消で地域が支える循環型学校給食」の仕組みができると考えます。